

令和3年度 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科（  
修士課程）修了者・INFORMATIONほか

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-05-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/00066106">http://hdl.handle.net/2297/00066106</a>

This work is licensed under a Creative Commons  
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0  
International License.



## 令和3年度 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科(修士課程)修了者

学位授与年月日, 氏名, 所属研究分野, 修士論文タイトル

令和4年3月22日	加藤 貴大 (KATO Takahiro)	腎臓内科学
腎線維化進展過程における Kif26b の役割		
令和4年3月22日	龔 麟祥 (GONG LINXIANG)	がん進展制御研究所 腫瘍分子生物学
The diverged effects of RB inactivation on metabolic and oncogenic signaling in mammary epithelium and cancer (正常乳腺および乳がんにおけるRBの代謝・発がんシグナル制御効果)		
令和4年3月22日	関屋 智子 (SEKIYA Tomoko)	小児科学遺伝子カウンセリングコース
難病をもつ患者・家族が有する遺伝的課題の実態調査と遺伝的ケアに関する検討		
令和4年3月22日	高島 勇人 (TAKABATAKE Yuto)	腎臓内科学
腎線維化進展におけるpalladinを介した細胞骨格制御とMRTF・YAPシグナルの関与		
令和4年3月22日	陳 媛媛 (CHEN YUANYUAN)	臨床薬理動態学
ラットにおけるElental <sup>®</sup> の長期投与が腸内フローラとタクロリムスの体内薬物動態変動に及ぼす影響		
令和4年3月22日	陳 茜 (CHEN XI)	がん進展制御研究所 遺伝子・染色構築学
造血及び造血器腫瘍発症における高脂肪食の役割		
令和4年3月22日	寺西 夏菜 (TERANISHI Kana)	がん進展制御研究所 腫瘍分子生物学
がん抑制遺伝子RBを介したK-Ras変異がん新規治療法の開発		
令和4年3月22日	新村 朱子 (NIMURA Akane)	血管分子生物学
エスモロールによる RAGE 切断とその有効性の検討		
令和4年3月22日	範 啓琰 (FAN QIYAN)	神経解剖学
脳損傷は細胞特異的な小胞体ストレス応答を異なる時間経過で誘導する		
令和4年3月22日	彭 雨波 (PENG YUBO)	統合神経生理学
Vip-tTA knock-in マウスの組織学的および行動学的解析		

## INFORMATION

【期間：2022年】

## 第26回日本生殖内分泌学会学術集会

会期：2022年1月8日(土)～9日(日)

会場：金沢市アートホール

会長：藤原 浩（金沢大学医薬保健研究域医学系産科婦人科学 教授）

事務局：第26回日本生殖内分泌学会学術集会事務局

山崎玲奈 鏡 京介 [担当：橋向]

TEL：(076)265-2425 FAX：(076)234-4266

内容：特別講演（2題）、教育講演（1題）、学術奨励賞候補演題、一般演題（口演）

## ナノ精密医学・理工学卓越大学院プログラム講演会

開催日時：2022年3月2日(水) 13:00～14:40

開催場所：十全記念スタジオ（医学図書館2階）

●今井 猛 先生（九州大学医学研究院）「生後発達期のシナプス競合と神経回路リモデリング」

●上田 泰己 先生（東京大学医学系研究科）「システム医学の実現に向けて～「睡眠健診」運動とその背景～」

連絡先：金沢大学 卓越大学院プログラム推進室

TEL 076-264-5959 E-mail: wise-ku@adm.kanazawa-u.ac.jp

【開催告知】

# 2022 金沢大学 十全医学会総会・学術集会

開催日：6月14日（火）

場 所：金沢大学十全講堂

## § 総会

12:40-13:00

- I. 会長挨拶
- II. 庶務報告 事業計画および報告
- III. 会計報告 1. 決算報告 2. 予算計画
- IV. 編集報告 優秀原著論文賞授賞式

## § 受賞記念講演

13:00-14:00

### 第18回 金沢大学十全医学賞

「中枢概日時計及び睡眠覚醒制御回路における GABA 作動性伝達の機能的役割の解明」

金沢大学医薬保健研究域医学系 統合神経生理学 准教授 前島 隆司 先生

### 第2回 十全医学奨励賞

「緑内障と概日リズム 一眼圧日内変動のメカニズムを探る」

金沢大学附属病院 眼科 医員 土屋 俊輔 先生

## § 学術集会 『免疫細胞療法』

14:10-17:40

「マウスインバリエントナチュラルキラー T細胞の胸腺内初期化発生機構の解明  
～第二世代iPS-NKT細胞製剤の開発を睨んだ基礎研究～」

金沢大学医薬保健研究域医学系 幹細胞免疫制御学 教授 渡会 浩志 先生

「T細胞を知る、創る」

京都大学 医生物学研究所 所長  
再生免疫学分野 教授

河本 宏 先生

「改変エクソソームを用いた新規免疫制御法の開発」

金沢大学医薬保健研究域医学系 免疫学 教授

華山 力成 先生

「制御性T細胞による免疫疾患の治療：抗原特異的免疫抑制をめざして」

大阪大学免疫学フロンティア研究センター・実験免疫学 特任教授  
大阪大学 栄誉教授

坂口 志文 先生

令和4年度  
《 十全医学賞・十全医学奨励賞 》  
( 応 募 規 程 )

**目 的** 医学の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、なお将来の発展を期待しうる優れた若手研究者に対し、賞を与え顕彰することを目的とする。

**名 称** 第19回 金沢大学十全医学賞  
第3回 金沢大学十全医学奨励賞

**応募資格** 1. 十全医学賞は会員歴5年以上、50歳未満(応募締切時点)とし、教授およびそれに相当する職位の者は除く。  
2. 十全医学奨励賞は会員歴3年以上、学位取得5年以内か、40歳未満(応募締切時点)とする但し、両賞への同時応募は不可とする。また、過去に受賞した同じ賞への応募も不可とするが、奨励賞に受賞して、2年以上経過後に医学賞に応募することは可能である。

**応募締切** 令和4年8月1日(月) 必着

**提出書類** 1. 応募申込書をHPからダウンロードし、必要事項を記載後、E-mailにて事務局に提出をする。  
(1) 関連研究業績について  
1) 過去5年間で申請者が発表した論文、著書のうち、本研究に関する重要な論文名を10件選定する。なお、論文は掲載が決定しているものに限る。  
2) 記載は現在から順に発表年次を過去にさかのぼって、通し番号を付ける。  
3) 記載する発表論文については、著者名、論文名、掲載誌名、掲載誌のインパクトファクター、巻(号)、ページ、掲載年(西暦)を記載する。(添付した別冊の番号に○印をつける)  
4) 著者名が多数にわたる場合は、主な著者名を3名程度記入(申請者にはアンダーラインを付す)し、以下を省略する。省略した場合は、申請者が掲載されている順番及び員数名を記入する。  
例) 申請者名 1, ○○○, …… 他7名  
○○○, 申請者名 2, ○○○, …… 他9名  
(2) 研究の概要を2000字以内にまとめて記載する。  
2. 関連研究の別冊5編(authorとして名前が入っているオリジナル1部、そのコピー7部)の論文を提出する。

**選考方法** 1. 会長の委任による選考委員会(会長が委員長となり研究科長、医学類長、がん進展制御研究所所長を含む数名を会長が任命する)を設置し、選考委員会の議を経て受賞者を決定する。  
2. 十全医学賞、十全医学奨励賞受賞は原則1名ずつとするが、選考委員会での審査の結果、該当者なしという場合もある。

**表彰・発表** 1. 受賞者は翌年に受賞記念講演を行うこととし、本会会長より表彰し、副賞を贈呈する。  
十全医学賞 受賞楯と賞金20万円 十全医学奨励賞 受賞楯と賞金10万円  
2. 当該年度十全医学会雑誌に受賞研究に関する総説を掲載する。

※ 受賞後であっても虚偽の事実や本要項違反行為が発覚した場合は、受賞を取り消し、賞金の返還を求める場合があります。

**申請・提出先**

金沢大学十全医学会(十全医学賞申請)  
〒920-8640 金沢市宝町13-1 (<http://juzen-igaku.w3.kanazawa-u.ac.jp>)  
TEL:076-265-2131 FAX:076-234-4208 E-mail:kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

## 投 稿 規 定

1. 本誌は、十全医学会会員の未発表の原著を中心とするが、総説、学会記事および抄録、書評、雑報、その他も掲載する。
2. 和文の場合は、すべてA4判大で600字(30字×20行)とする。原本とそのコピー1部(表図も同様)、雑誌投稿用紙、電子媒体(FD, CD-R, MOのいずれか)を添え事務局まで提出する。
  - 1) 電子媒体には氏名、住所、連絡先(電話番号)および使用したソフト名を記入すること。  
〈文字データ〉Word, 一太郎 等。ファイル形式はテキスト保存。その他ワープロソフトでもテキスト保存であれば、可。  
〈写真データ〉Photoshop, Photoshop LE, Power Point 等。ファイル形式はEPS, JPEG保存。その他の画像ソフトでも保存形式がEPS, JPEG, TIFFであれば、可。  
〈表データ〉イラストレーター, Excel。イラストレーターについてはVer.8.0に下位保存、文字のアウトライン化にすること。
  - 2) 特殊な記号や外字などはソフトウェア相互の規格の不統一によって、正しい変換が行なわれない(文字化け)ケースが多々あるので、校正時には特に注意する。
  - 3) 英単語の途中での改行のハイフンは入力しないこと。
3. ヒトゲノム・遺伝子解析、および動物実験を含む論文の投稿に際し、投稿時には、当該研究の許可通知書のコピーを添付し、論文中に研究許可年月日、許可番号、課題名を記載する。
4. 原稿の編成順は以下のとおりとする。

(表題ページ) 表題、所属、氏名、25字以内の略題、連絡先を表示し、これを第1ページとし、原稿すべてに通しページをつける。  
(和文抄録) 600字にまとめ、英文抄録の内容と一致すること。  
(Key words) 5個以内の英語または邦語とする。  
(略語: Abbreviations) 本文中の外来略語とそのフルスペリングを略語のアルファベット順に記載する。日本語略語は、これに続けてアイウエオ順に記載する。ただし、別掲の略語は、Abbreviation欄に挙げる必要はない。また、本文中でも邦語やフルスペルを示す必要はない。  
(本文)  
(英文抄録: Abstract) 英文の表題、氏名、所属、Key Wordsに続いて記載し、段落を作らず全文を続けて書くこと。  
(表: Table, および図: Figure)  
(図の英文説明: Legend)
5. 本文の構成は、次のごとくとする。ただし、原著以外はこの限りではない。

緒言(見出しなしで始める)、対象(または材料)および方法、成績、考察、結論、謝辞、文献。対象および方法、および成績の章は、なるべく項目を挙げて説明する。
6. コンマ、ピリオド、括弧などは、すべて1字として扱うこと。単位の略語記号としてg, l, m, sec, min, hr, °C, M (=mol/l), A, V, Ω, S (siemens=1/Ω), Da (=dalton), b (=base), LD<sub>50</sub> (median lethal dose), cpm (counts per minute) などを用いる。各略字の後にピリオドをつけない。各単位を1000倍することに、その前にk, M, Gをつける。また1/1000倍することに、m, μ, n, p, fをつける。ただしcmとdlを使うのは差支えない。(本文中の時間の単位は、原則として日本語とする。ただし、msecはこの限りでない。)
7. 章、節、項などの区分は、それぞれI, 1, 1) i, a, a)の順にこれらの記号を用いる。
8. 文献は本文中に引用した順に記載し、文献欄には論文の題名をフルタイトルで書き、ページの始めと終わりを入れ、原著および単行本については下記の投稿例に従って記載する。文献数は、なるべく必要度の高い文献のみを記載し、50以上にならないようにする。
  - 1) Zarrow MX, Holmstrom EG, Sahlnick HA. The concentration of relaxin in the blood stream and other tissues of women during pregnancy. *J Clin Endocrinol Metab* 14: 22-27, 1955
  - 2) 奥村隆俊, 光村利一, 中西真澄. 瀉血血糖過剰の機作用について. *日内会誌* 14: 273-275, 1926
  - 3) Bull HG. *Physiological Biochemistry*, 2nd ed, p97-107, John Wiley & Sons Inc, New York, 1951
  - 4) Leibovitz B, Siegel BV. Ascorbic acid and the immune response. *In* M Philips, A Baetz (eds), *Diet and Resistance to Disease*, 1st ed, p1-25, Plenum Press, New York, 1981
  - 5) 早田 勇. 染色体標本作成法. 実験動物の血液学(小林好作, 平嶋邦猛, 関 正利編), 第1版, 281-293頁, ソフトサイエンス社, 東京, 1981引用雑誌の略名は、World List of Scientific Periodicals (London Butterworth, 1963), World Medical Periodicals (World Medical Association, 10 Columbus Circle, New York 19, N. Y. U.S.A. 1961), List of Journals Indexed in Index Medicus (各年度発刊), Excerpta Medica List of Journals Abstracted (各年度発刊), Serial Sources for the Biosis Data Base (各年度発刊), 医学中央雑誌収載誌目録(各年度発刊), 日本自然科学学術雑誌総覧(日本医学図書館協会編, 学術書出版会刊, 1969)などによること。

本文中では、引用文献の著者名、または内容の右肩に<sup>12)</sup>……などの番号を書き、文献欄との照合を容易にすること。ただし、引用文献が3つ以上連続するときは、<sup>3)~7)</sup>などと書くこと。引用文献の著者が複数あるときは、筆頭者名のみを書き、それに“ら”を付す。原則として、年号は、はぶく。  
〔例〕Zarrow MX, Holmstrom EG, Sahlnick HA. は、Zarrowら<sup>1)</sup>とする。
9. 表 (Table) は英語でタイプをする。表の上にTable 1, Table 2. ……と通し番号をつけ、続いて英文表題を書く。説明文は、表の下に直接タイプする。本文中では表1, 表2……と書く。
10. 図が原稿のみの場合、そのまま製版できるまでに仕上げる。図(写真を含む)の下にFig. 1, Fig. 2. ……と通し番号をつける。説明文は英文とし、図とは別に一括してタイプする。ただし、本文中では、図1, 2……と書く。
11. 図、表などの挿入位置は、本文原稿の右欄外に指定しておく。
12. 著者の校正は、2回限りとし、誤植の訂正だけにとどめ、内容の訂正をしてはならない。
13. 本文、表、図、写真、別刷りなどの費用は、著者の負担とする。
14. 以上の規定にそわない原稿は、掲載を拒否することがある。原稿の作成にあたっては、金沢大学十全医学会 <http://juzen-igaku.w3.kanazawa-u.ac.jp> の投稿規定を参考にする。
15. 問合せ先 金沢大学十全医学会事務局  
TEL 076-265-2131 FAX 076-234-4208  
E-mail: kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

本誌に掲載された著作物(又は報文を含む)の著作権は本学会に帰属する。

## Instructions to authors

Submissions considered for publication in Journal of the Juzen Medical Society are received on the understanding that they have not been accepted for publication elsewhere and that all of the authors agree to the submission. Reviews, articles and abstracts of the society, and others are received. Manuscripts should be read by colleagues who are proficient in English before submission.

### I . Submission of manuscripts

- 1) Submit manuscripts in two (one original and one copy) with a floppy disk, an MO or CD-R disk (on Windows or Macintosh format), which recorded your manuscript in text style. We can accept image and table formats as follows.

#### Image formats

- Photoshop (.eps)
- Photoshop LE (.eps)
- PowerPoint (.eps, .jpeg)
- Others (.eps, .jpeg, .tiff) are accepted.

#### Table formats

- Adobe Illustrator (eps; save as under Ver. 8.0)
- Excel

- 2) Complete style printed manuscripts on white A4 paper, without hyphenation, with 2.5 to 3 cm margins on the right and left sides, 4 cm margins on the upper and lower sides, double spaced copies including figures and tables must accompany the disk.
- 3) Special characters such as italics, bold subscript, superscript, Greek letters, mathematical symbols etc. should be clearly indicated.
- 4) It is important that authors should receive permission of human experiments or animal experiments from Ethical Committees of School of Medicine in Kanazawa University before submission.
- 5) When the manuscript is accepted for publication, the authors must agree to automatic transfer of copyright to the Juzen Medical Society.

### II . Manuscript format

The manuscript should be set out with the following sections beginning on a new page

- 1) title page including title of paper; full names, affiliations of all cited authors, running title (not exceed 30 words), corresponding author's name, full mailing address, telephone number, fax number, and e-mail address; present address of authors
- 2) abstract must not exceed 250 words in one paragraph, within 5 key words (small letters except a proper noun), and abbreviations; (authors should note abbreviations except in a table of abbreviations)
- 3) text and acknowledgments
- 4) references
- 5) figure legends
- 6) tables with their legends.

Manuscripts should be organized and numbered consecutively as follows;

- 1) title page
- 2) abstract

- 3) introduction
- 4) materials and methods
- 5) results
- 6) discussion
- 7) acknowledgment
- 8) reference list
- 9) tables
- 10) legends to figures
- 11) figures in that order.

Drawings and charts for reproduction should be black and laser printed. Photographs (maximum 8 cm in width x 24.5 cm in length of one column, or 16 cm in width 24.5 cm in length of two columns) and drawings should be numbered and the authors should indicate either of the two. Color illustrations are acceptable, however, the authors are requested to pay the extra publication costs. Abbreviations should conform to the style accepted in the Japanese Medical Sciences and used in Journal of the Juzen Medical Society and the Quarterly Cumulative Index Medicus.

### III . References

Number references consecutively in the order in which they are first mentioned in the text. Identify references in text, tables and legends by Arabic numerals superscript (e.g. Kanazawa<sup>1)</sup>, Kanazawa K<sup>2)3)</sup>, Kanazawa K<sup>4)6)</sup> etc.) All references cited, and only these, must be listed at the end of the paper. All authors' names should be listed. Abbreviations of journals must conform to those used in Index Medicus of the National Library of Medicine. The format should conform to the examples listed below:

References to a journal:

- 1) Zarrow MX, Holmstrom EG, Sahnick HA. The concentration of relaxin in the blood stream and other tissues of women during pregnancy. *J Clin Endocrinol Metab* 14; 22-27, 1955

References to a book

- 2) Bull HG. *Physiological Biochemistry*, 2<sup>nd</sup> ed, p97-107, John Wiley & Sons Inc, New York, 1951
- 3) Leibovitz B, Siegel BV. Ascorbic acid and the immune response. In M Philips, A Baetz (eds), *diet and Resistance to Disease*, 1<sup>st</sup> et, pl-25, Plenum Press, New York, 1981

If the manuscript will be accepted, author corrects only factual errors and printer's errors, and other changes will not be permitted. Author will be charged for text, color figures and reprints.

### IV . Submit and inquiry office:

Complete 2 sets of manuscripts, including 2 sets of figures, should be sent to

Editorial Office of Journal of the Juzen Medical Society  
Kanazawa University, 13-1 Takara-machi, Kanazawa, Ishikawa  
920-8640, Japan

Tel: 076-265-2131, Fax: 076-234-4208

E-mail: kenkyu@med.kanazawa-u.ac.jp

## Table of Abbreviations

Abbreviations	Full spellings	Abbreviations	Full spellings
《Chemicals》			
AMP	adenosine 5'-monophosphate	NADP	nicotinamide-adenine dinucleotide phosphate
ADP	adenosine 5'-diphosphate	NADPH	reduced form of nicotinamide-adenine dinucleotide phosphate
ATP	adenosine 5'-triphosphate	NTP	nucleotide triphosphate
Ala	alanine	PBS	phosphate buffered saline
Arg	arginine	Phe	phenylalanine
Asn	asparagine	Pro	proline
Asp	aspartic acid	RNA	ribonucleic acid
CMP	cytidine 5'-monophosphate	RNase	ribonuclease
CDP	cytidine 5'-diphosphate	cRNA	complementary ribonucleic acid
CTP	cytidine 5'-triphosphate	mRNA	messenger ribonucleic acid
Cys	cysteine	rRNA	ribosomal ribonucleic acid
cAMP	adenosine 3', 5'-cyclic monophosphate	tRNA	transfer ribonucleic acid
cGMP	guanosine 3', 5'-cyclic monophosphate	SDS	sodium dodecyl sulfate
dAMP	deoxyadenosine 5'-monophosphate	SSC	standard saline citrate
dADP	deoxyadenosine 5'-diphosphate	Ser	serine
dATP	deoxyadenosine 5'-triphosphate	TMP	thymidine 5'-monophosphate
dCMP	deoxycytidine 5'-monophosphate	TDP	thymidine 5'-diphosphate
dCDP	deoxycytidine 5'-diphosphate	TTP	thymidine 5'-triphosphate
dCTP	deoxycytidine 5'-triphosphate	Tris	tris (hydroxymethyl) aminomethane
dGMP	deoxyguanosine 5'-monophosphate	Thr	threonine
dGDP	deoxyguanosine 5'-diphosphate	Trp	tryptophan
dGTP	deoxyguanosine 5'-triphosphate	Tyr	tyrosine
dNTP	deoxyribonucleotide triphosphate	UMP	uridine 5'-monophosphate
dTTP	deoxythymidine 5'-triphosphate	UDP	uridine 5'-diphosphate
dUTP	deoxyuridine 5'-triphosphate	UTP	uridine 5'-triphosphate
ddATP	dideoxyadenosine 5'-triphosphate	Val	valine
ddCTP	dideoxycytidine 5'-triphosphate		
ddGTP	dideoxyguanosine 5'-triphosphate	《Methods》	
ddTTP	dideoxythymidine 5'-triphosphate	CT	computed tomography
DNA	deoxyribonucleic acid	ELISA	enzyme-linked immunosorbent assay
DNase	deoxyribonuclease	HE	hematoxylin and eosin
cDNA	complementary deoxyribonucleic acid	MRI	magnetic resonance imaging
DOPA	3, 4-dihydroxyphenylalanine	PAGE	polyacrylamide gel electrophoresis
EDTA	ethylenediaminetetraacetic acid	PCR	polymerase chain reaction
GMP	guanosine 5'-monophosphate	RT-PCR	reverse transcriptase-polymerase chain reaction
GDP	guanosine 5'-diphosphate		
GTP	guanosine 5'-triphosphate	《Statistics》	
Gln	glutamine	ANOVA	analysis of variance
Glu	glutamic acid	SD	standard deviation
Gly	glycine	SEM	standard error of mean
Hb	hemoglobin		
HEPES	2 [4-(2-hydroxyethyl)-1-piperaziny] ethanesulfonic acid	《Others》	
His	histidine	bp	base pair
Ig	immunoglobulin	MW	molecular weight
Ile	isoleucine	NIH	National Institute of Health
Leu	leucine	OD	optical density
Lys	lysine	UV	ultraviolet
Met	methionine	WHO	World Health Organization
NAD	nicotinamide-adenine dinucleotide		
NADH	reduced form of nicotinamide-adenine dinucleotide		

《mass》	
kilogram	kg
gram	g
Hertz	Hz
microgram	$\mu\text{g}$
mole (gram-molecule)	mol
millimole	mmol
micromole	$\mu\text{mol}$
nanomole	nmol
picomole	pmol
parts per million	ppm
《time》	
hour	hr
minute	min
second	sec
《volume》	
liter	l
milliliter	ml
microliter	$\mu\text{l}$
《length》	
meter	m
centimeter	cm
millimeter	mm
micrometer	$\mu\text{m}$
nanometer	nm

《concentration》	
molar (mol/l)	M
millimolar	mM
micromolar	$\mu\text{M}$
nanomolar	nM
picomolar	pM
《heat, energy, electricity》	
joule	J
degree Celsius (centigrade)	$^{\circ}\text{C}$
ampere	A
volt	V
ohm	$\Omega$
《radiation》	
curie	Ci
counts per minute	cpm
becquerel	Bq
《miscellaneous》	
gravity	g
dissociation constant	Kd
median doses	LD <sub>50</sub> ED <sub>50</sub>
square centimeter	cm <sup>2</sup>

## CONTENTS

<b>Hideki Nomura :</b>	Introducing Scientific Point of View in the Process of Learning	1
〔Reviews〕		
<b>Hiroshi Kawasaki :</b>	Investigation of the mechanisms underlying development, evolution and diseases of the cerebral cortex using ferrets	2
<b>Michihiro Mieda :</b>	Neural mechanisms underlying the central circadian clock	7
<b>Tsuyoshi Hamaguchi :</b>	Transmission of amyloid $\beta$ protein pathology in the brain among individuals	12
<b>Ken-ichi Ito :</b>	Analysis of mechanisms of anti-cancer drug resistance in breast cancer	18
<b>Koichi Tsuneyama :</b>	Development of a mouse model of nonalcoholic steatohepatitis (NASH) with severe fibrosis and proposal of a new analytical technique of pathogenesis	21
<b>Daiki Kayano :</b>	High-dose $^{131}\text{I}$ -metaiodobenzylguanidine therapy in patients with high-risk neuroblastoma in Japan	24
<b>Hiroshi Fujiwara :</b>	The 26th Annual Meeting of Japan Society of Reproductive Endocrinology.	27

複写をご希望の方へ  
金沢大学十全医学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。

本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。但し、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です)。

権利委託先 一般社団法人学術著作権協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F  
FAX : 03-3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作権の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、金沢大学十全医学会へお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 金沢大学十全医学会  
TEL : 076-265-2131 FAX : 076-234-4208  
E-mail : kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学十全医学会編集委員  
吉崎智一(委員長)、安藤 仁、市村 宏、絹谷清剛、高橋智聡、中田光俊

令和4年4月発行  
(日本出版協会会員番号 B111010)

編集者・発行者 吉崎 智 一  
発行所 金沢大学十全医学会  
〒920-8640  
石川県金沢市宝町13-1  
TEL:(076)265-2131 FAX:(076)234-4208